

2023年10月27日  
福井県  
北陸電力株式会社  
三井物産株式会社

## 敦賀港における浮体式貯蔵再ガス化設備（FSRU）を用いた水素・アンモニア サプライチェーン構築に関する事業化調査実施について

福井県、北陸電力株式会社（以下「北陸電力」）および三井物産株式会社（以下「三井物産」）は、経済産業省のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金の公募採択を受け、敦賀港における浮体式貯蔵再ガス化設備（以下「FSRU(\*1)」）を用いた水素・アンモニアサプライチェーン構築に関する事業化調査（以下「本プロジェクト」）を共同で実施することに合意し、連携協定を締結しました。

水素・アンモニアは、様々なエネルギー源から作ることができ、燃焼時に CO<sub>2</sub> を排出しないことから、国の第6次エネルギー計画においても、カーボンニュートラル時代において中心的な役割が期待されるエネルギー源と位置付けられています。

また、国が主催する共創会議(\*2)においては、水素・アンモニア発電、地域企業の利用促進等を通じた地域内の水素・アンモニア利用の定着、産業化とともに、敦賀港を中心に貯蔵タンクやパイプラインなど受入・供給設備を備えた供給拠点の形成を目指すこととされております。

本プロジェクトでは、敦賀港における水素・アンモニアサプライチェーンの構築に向けて、アンモニアの FSRU 導入、FSRU から供給されるアンモニアの利活用、荷役機械への水素電源の導入について、実現可能性調査を実施します。福井県は水素電源導入関連検討の取り纏めを、北陸電力はアンモニア利活用関連検討の取り纏めを、三井物産は FSRU 関連検討の取り纏めを主に担当します。

本プロジェクトに参画する 3 者は、各々が有する技術、知見を活用することで、敦賀港における水素・アンモニアサプライチェーンの構築に努め、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

(\*1) FSRU は「Floating Storage and Regasification Unit」の略称。洋上で液化アンモニアを受入・貯蔵し、利用する際に再ガス化して送り出す設備。

(\*2) 福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議 取りまとめ：

[https://www.meti.go.jp/shingikai/energy\\_environment/fukui\\_kyosokaiqi/pdf/20220610\\_1.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/fukui_kyosokaiqi/pdf/20220610_1.pdf)

<実施者>

【福井県】

県庁所在地 : 福井県福井市  
代表者 : 福井県知事 杉本 達治  
HP : <https://www.pref.fukui.lg.jp/index.html>

【北陸電力株式会社】

本社所在地 : 富山県富山市  
設立年 : 1951年5月  
代表者 : 代表取締役社長 社長執行役員 松田 光司  
HP : <https://www.rikuden.co.jp/>

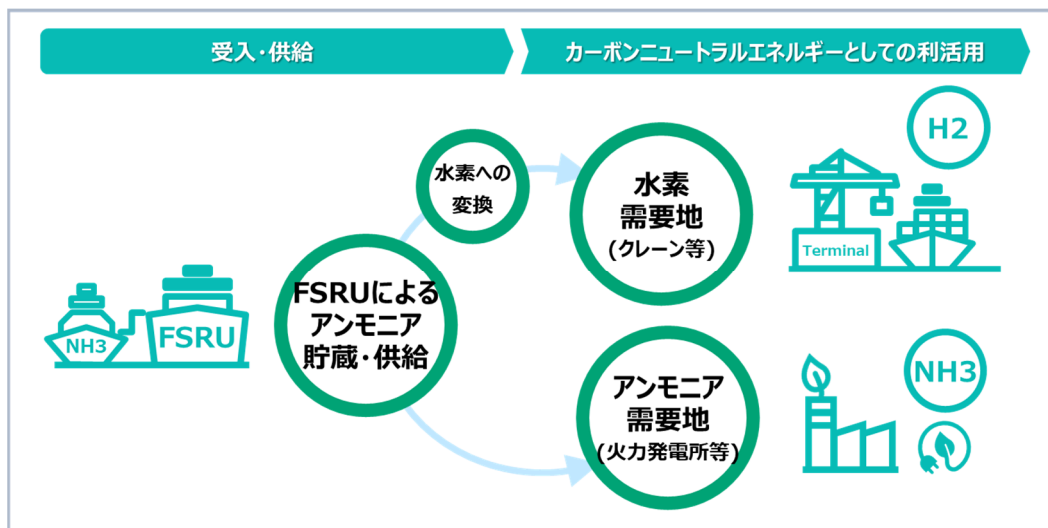
【三井物産株式会社】

本社所在地 : 東京都千代田区  
設立年 : 1947年7月  
代表者 : 代表取締役社長 堀 健一  
HP : <https://www.mitsui.com/jp/ja/>

<協定署名者>

福井県 エネルギー環境部長 獅子原 朋広  
北陸電力株式会社 執行役員 福井支店長 塚本 明  
三井物産株式会社 モビリティ第二本部 マリンソリューション事業部長 久保田 堅介

<水素・アンモニアサプライチェーン概念図>



以上